



大阪科学・大学記者クラブ 御中

2016年5月10日

公立大学法人大阪市立大学 広報室  
Email: t-koho@ado.osaka-cu.ac.jp

## 上方文化講座 2016 文楽『ひらかな盛衰記』受講生を募集します！

大阪市立大学文学部は、平成28年8月24日（水）～26日（金）の3日間、学術情報総合センター10階にて、文学部特別授業 上方文化講座 2016『ひらかな盛衰記』を開講します。それに伴い、本学の学生と共に学んでいただく70名の受講生を募集します。

「上方文化講座」は、2004年度から新たに開設された授業科目で、大阪の地に歴史的に育まれた文化、とりわけ伝統芸能「文楽」に光を当て、学問的体系の下に学ぼうとするものです。講師として文楽界の第一線で活躍する技芸員を招き、本学教員との共同作業により授業を組み立てていきます。今年度は『ひらかな盛衰記』を題材に、その普遍的な魅力を多角的に分析します。

大阪を代表する伝統芸能「文楽」は、2003年にユネスコの「人類の口承及び無形遺産の傑作」にも選定されました。大阪生まれの文楽が「人類共通の宝」たりうるのはなぜか、その普遍的意義を捉え、世界的芸術文化の広がりの中に位置づけようとするのが本講座の目指すところです。

一人でも多くの方に「文楽」の魅力を知っていただくための特別授業です。この機会に皆さまのご応募をお待ちしています。



昨年の講義風景



昨年の人形レクチャーの様子（『奥州安達原』）

### 記

1 日 時 平成28年8月24日（水）～26日（金） 各日9時30分～16時

2 場 所 大阪市立大学学術情報総合センター10階大会議室  
（JR 阪和線「杉本町(大阪市立大学前)」駅下車 徒歩5分）  
アクセス：[http://libweb.media.osaka-cu.ac.jp/?page\\_id=112](http://libweb.media.osaka-cu.ac.jp/?page_id=112)

3 内 容 『ひらかな盛衰記』を3日間の集中講義で研究分析します。  
<http://www.lit.osaka-cu.ac.jp/kamigata/index.html>

※詳細は上記 URL をご参照ください

- 4 講 師 竹本津駒太夫（太夫）、鶴澤清介（三味線）、桐竹勘十郎（人形遣い）【以上、人形浄瑠璃文楽座技芸員】  
久堀裕朗（日本近世文学）、塚田孝（日本近世史）、三上雅子（現代演劇）、  
奥野久美子（日本近代文学）、山本真由子（日本中古文学）、小林直樹（日本中  
世文学）【以上、本学文学研究科専任教員】
- 5 募集人員 70名
- 6 対 象 上方文化に関心のある方  
※原則3日間受講できる方が対象となります。
- 7 受講料 3,000円
- 8 申込方法 住所・氏名・電話番号と、400字程度で受講動機を記したもの(様式自由)に、  
返信用官製ハガキ（住所・氏名を記入のこと）を添え、封書にて下記の宛先ま  
でご郵送ください。
- 〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138  
大阪市立大学文学部「上方文化講座」係 【締切：7月26日（火）必着】  
※応募者多数の場合は抽選となります。  
※抽選結果は返信用官製ハガキで8月初旬までに通知します。  
※お申込時にご記入いただきました個人情報とは当講座に関する受講状況の  
分析のみに利用し、第三者へ提供・開示することはありません。
- 9 主 催 大阪市立大学大学院文学研究科・文学部 （協力：公益財団法人 文楽協会）
- 10 お問合せ先 大阪市立大学 学務企画課文学部担当「上方文化講座」係  
TEL：06-6605-2350 【問合せ可能時間 平日9時～17時】

**【本件に関するお問合せ先】**

大阪市立大学 学務企画課文学部 担当：稲次

TEL：06-6605-2350 【問合せ可能時間 平日9時～17時】

大阪市立大学文学部特別授業

# 上方文化講座 2016

せいすいき

# いらかな盛衰記



昨年授業風景

## 講師

竹本津駒太夫 (太夫) 鶴澤清介 (三味線) 桐竹勘十郎 (人形遣い)

久堀裕朗 (日本近世文学)

塚田 孝 (日本近世史)

三上雅子 (現代演劇)

奥野久美子 (日本近代文学)

山本真由子 (日本中古文学)

小林直樹 (日本中世文学)

授業期間 2016年8月24日(水)～8月26日(金)

授業時間 連日9時30分～16時

授業教室 大阪市立大学  
学術情報総合センター10階大会議室

受講ご希望の方は下記の要領でお申し込みください。

- 募集人員: 70名 (申し込み多数の場合、抽選。結果は返信用ハガキで8月初旬に通知)
  - 受講料: 3,000円
  - 申込方法: 申込書 (書式自由) に住所・氏名・電話番号・受講動機 (400字程度) を記し、返信用の官製ハガキ (住所・氏名を記入のこと) を添え、封書にて郵送
  - 申込締切: 7月26日 (必着)
  - 申込先: 〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138  
大阪市立大学文学部「上方文化講座」係
- \*講座は3日間通しの受講が条件となります。  
お問い合わせ 学務企画課文学部担当 TEL06-6605-2350 (平日9時～17時)  
\*ご記入いただきました個人情報には他目的には使用いたしません。





# 上方文化講座とは



上方文化講座は大阪市立大学文学部が2004年度より開設した特別授業科目です。大阪の地に歴史的に育まれた文化、わけでも伝統芸能「文楽」に光をあて、学問的体系のもとに学ぼうとするものです。

その第一の特色は、文楽界の中核を担う名手、竹本津駒太夫（太夫）・鶴澤清介（三味線）・桐竹勘十郎（人形遣い）の三師を学外非常勤講師としてお招きし、文学研究科スタッフとの共同作業により授業を組み立てていく点にあります。さらに第二の特色として、それが文学部の正規の授業科目であるとともに、一般市民にも公開して行われる点を挙げることができましょう。

大阪市設置の公立大学に相応しい、教育・研究・社会貢献の三者が一体となった事業として、従来の公開講座の類とは一線を画した内容を有しています。

## 上方文化講座2016『ひらかな盛衰記』授業日程

### 8月24日(水)

- I 文案案内一人形浄瑠璃舞台・三人遣いなど（久堀裕朗）
- II 『ひらかな盛衰記』解説（久堀裕朗）
- III 鐘伝承の諸相（小林直樹）
- IV 明治大正期の木曾義仲像—芥川龍之介「義仲論」など—（奥野久美子）

### 8月25日(木)

- I 『ひらかな盛衰記』【四段目】講読（久堀裕朗）
- II 簾の梅は紅か白か—漢詩・和歌における「梅」の表現史—（山本真由子）
- III 『ひらかな盛衰記』—太夫・三味線の芸（竹本津駒太夫・鶴澤清介）
- IV 『ひらかな盛衰記』—太夫・三味線・人形の芸（竹本津駒太夫・鶴澤清介・桐竹勘十郎）

### 8月26日(金)

- I 蛸川幸雄と文案—文案とギリシア悲劇とシェイクスピア（三上雅子）
- II 近世大坂の芝居町（塚田孝）
- III 桐竹勘十郎師に聞く—実演をまじえて（桐竹勘十郎）
- IV 文案の至芸—太夫・三味線・人形、三業一体の舞台  
（竹本津駒太夫・鶴澤清介・桐竹勘十郎）

\*なお、各時限のおおよその目安は以下の通りです。

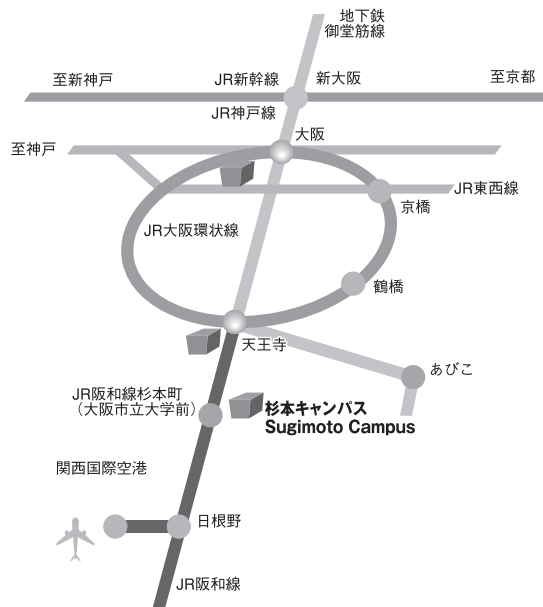
I・II 9:30~12:00 III・IV 13:00~16:00

\*授業内容および時間割は変更になる場合もありますので、ご了承ください。

### ■ これまでに取り上げた作品

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| 2004年度『曾根崎心中』   | 2010年度『一谷嫩軍記』 |
| 2005年度『国性爺合戦』   | 2011年度『生写朝顔話』 |
| 2006年度『冥途の飛脚』   | 2012年度『絵本太功記』 |
| 2007年度『菅原伝授手習鑑』 | 2013年度『壇浦兜軍記』 |
| 2008年度『義経千本桜』   | 2014年度『本朝廿四孝』 |
| 2009年度『仮名手本忠臣蔵』 | 2015年度『奥州安達原』 |

2004年度・2007年・2008年度分については、講座内容をまとめた『上方文化講座 曾根崎心中』『上方文化講座 菅原伝授手習鑑』『上方文化講座 義経千本桜』（和泉書院）が刊行されています。また、昨年度までの授業内容については、上方文化講座ホームページ(<http://www.lit.osaka-cu.ac.jp/lect/kamigata/>)をご覧ください。



### 交通

JR阪和線「杉本町（大阪市立大学前）駅」下車、東へ徒歩約5分  
地下鉄御堂筋線「あびこ駅」下車、4号出口より南西へ徒歩約20分